

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	PARC ウィル藤井寺		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日 ~ 2025年 11月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 9日 ~ 2025年 12月 16日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 16日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員配置が充実している（常時、看護師2名以上、リハ職1名以上配置）	人工呼吸器を装着している子や医療的ケアのあるお子さまの受け入れ可能なように、訪問看護ステーションと連携を図りながら人員配置をしている。また、利用日には毎回リハビリや療育を受けてもらえるように工夫してスケジュールを組んでいる。	多職種連携をしながら、より良いサービス提供の為、日々ニーズに合わせて配置できるように努める。
2	重症度の高い子ども、呼吸器、医療的ケア児の対応、入浴支援を毎日実施（月～土）	人工呼吸器を装着しているお子さまでも安全に入浴できるよう手段や方法の検討を重ねている。	事業所内外の研修会に積極的に参加することで質の向上を図る。
3	訪問看護師やヘルパーとも密な連携を行っている。	訪問看護や、ヘルパー事業所と同じ場所・フロアに当事業所ある為、訪問に行っている看護師やヘルパーと当事業所の職員間での連携・情報共有が密にできている。 また、訪問中の出来事・来所中の出来事等も共有できるため、保護者との情報共有も密にできるようにしている。	引き続き連携しながら、情報共有を密に行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流が少ない	重症度が高い子どもが多い為、外出が難しい。また、気温や気候に敏感だったり、感染症に罹る懸念がある為、人との交流が難しい	年間計画を作成して、地域のイベント等への参加を早めに検討する。
2	保護者同士の交流の機会が少ない	今年度は初めての交流の機会を作ろうとしたが、準備やお知らせのタイミングが遅くなってしまい、開催までなかなか踏み切れなかった	年間計画を作成して、交流会等の事業所内イベントを早めに保護者へ伝えるようにする。
3	外出が少ない	重症度が高い子どもが多い為、医療的ケアや長時間移動することにリスクが生じると判断しているため。また、周囲の環境（道路状況や、近隣に公園がない等）が車いすやバギーでの移動に適していない。	年間計画を作成して、それらを実行できるように計画を練る時間を捻出する。